



# 谷戸大竹レポート

## 第8号

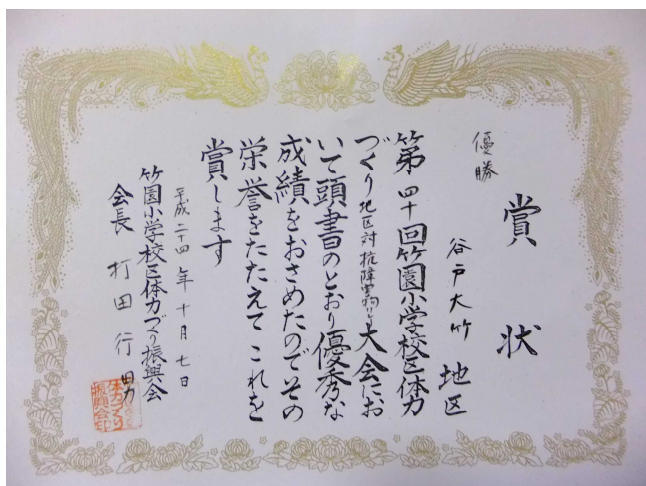
伊勢原市・谷戸大竹自治会

平成24年11月21日

### 10.7 体育祭

今年も障害物リレーで優勝！

2年連続の快挙です！



### 9.17 敬老会

元気でなにより！



### 歩行者用信号機の設置が決定！

八幡台ヒルズ前交差点

……長年の懸案、ふれあい懇談会でも要望……

伊勢原駅方向から谷戸大竹地区への入口部分にある八幡台ヒルズ前交差点には、歩行者用信号機が一部ついていませんでしたが、今年度中には設置されることとなりました。

未設置部分は、ひかり幼稚園方向からまっすぐに交差点を渡る（その逆も）横断歩道です。子どもたちの通学路でもあり、竹園小PTAによる「ふれあい懇談会」でもいつも設置要望が出されるなど長年の懸案事項でした。

この設置決定は、山口前自治会長（平成17年度から19年度まで自治会長）が提出されていた設置要望が、ようやく今になって実施決定になったというものです。

自治会としての地道な活動の成果と言えます。





## 担架が届きました。

☆☆☆今年度自治会重点テーマに合致！☆☆☆

当自治会の今年度重点テーマは「防災」としておりますが、それに合わせたように、市の防災課から災害時対応の担架が配備されました。防災用ヘルメットも3個届き、ヘルメットは合計10個が集会所常備となりました。どちらも集会所内に保管し、いざという時に役立てることとします。

この担架とヘルメットは、平成19年度に山口前自治会長が市に配備申請していたものです。自治会への配備が5年後とはかなり遅いですが、それはそれとして、これまた自治会活動を地道に進めてきたからこそです。同時に、当自治会の防災物品が充実したのは喜ばしいことです。また、市防災課の関係者には御礼申し上げます。ありがとうございました。



## 10.21 防災訓練の体験会

当自治会の今年度防災訓練として県総合防災センター（厚木市下津古久）で、防災訓練体験会を実施しました。震度6の地震体験、消火訓練、暴風体験、煙の中での避難訓練など、普段はなかなかできない体験の連続でした。



## 大磯線歩道への防犯灯設置を市に要望しています。

・・・沿線関係者からも自治会に要請あり・・・

当谷戸大竹地区内を走る主要地方道・相模原大磯線（通称大磯線）は、小田急線の跨線橋から大磯方面に向けての400mほどですが、道路灯が付いているのは跨線橋の周辺だけで、その先の350mほどには道路灯も防犯灯も設置されないままに今日に至っています。しかしこの暗い道路の、大磯に向かって左側の歩道は平成11年度から竹園小通学路となっており、また右側歩道沿いには産婦人科、小児科、眼科、薬局、動物病院などが並んで歩行者も多く、道路灯もしくは防犯灯は、絶対に不可欠だと思いますし、沿線関係者から自治会に防犯灯設置要請も出されています。

そこで当自治会は市に、去年は口頭で、今年は要望書として2回、道路灯もしくは防犯灯の設置要望を提出しています。竹園小通学路としての左側歩道は、その先の「赤い道通学路」には教育委員会が平成11年から防犯灯を万全に設置した反面で、完全放置状態になったまま。また、秋から冬の日の短い時期には午後4時を過ぎるとかなり暗くなって足許も見えなくなり、大磯線を走る車のライトだけガ頼りといった状況、ということも要望書にしました。

現時点での市の回答は、「大磯線は県の所管であり、県が道路灯を設置するのは三叉路や四つ角などに限定していて当該部は道路灯設置基準から外れるし、県がこの基準を曲げることは絶対にない。市としては、市内には同様な箇所があるのでそれらもよく調査した上で、今後の対応を考えたい」となっています。

明快な実現回答はまだもらえていませんが、自治会活動を地道に進めていけば、前述した「八幡台ヒルズ前交差点の歩道信号の設置決定」や「災害時対応の担架が5年を経て配備された」のと同様に、やがては地元要望がかなえられる、と信じたいと思います。（なお現在、大磯に向かって右側の歩道沿いの1箇所には、そこに所在する鈴木眼科さんの好意で3灯の防犯灯が輝いています。照明器具も電気料金も鈴木眼科さんが負担して下さっています）

